

三一三一番

月つき変かへて 君きみをば見みむと 思おもへかも 日ひも変かへず
して 恋こひの繁しげけむ

三一三二番

な行ゆきそと 帰かへりも来くやと 願かへりみに 行ゆけど帰かへ
らず 道みちの長なが手を

三一三三番

旅たびにして 妹いもを思おもひ出いで いちしろく 人ひとの知しる
べく 嘆なげきせむかも

三一三四番

里さと離とわかり 遠とほからなくに 草くさ枕まくら 旅たびとし思おもへば
なほ恋こひひにけり